

教学実践フォーラム
楽しくインタラク
ションをする
Antecedent-
Behavior-
Consequence
を使って

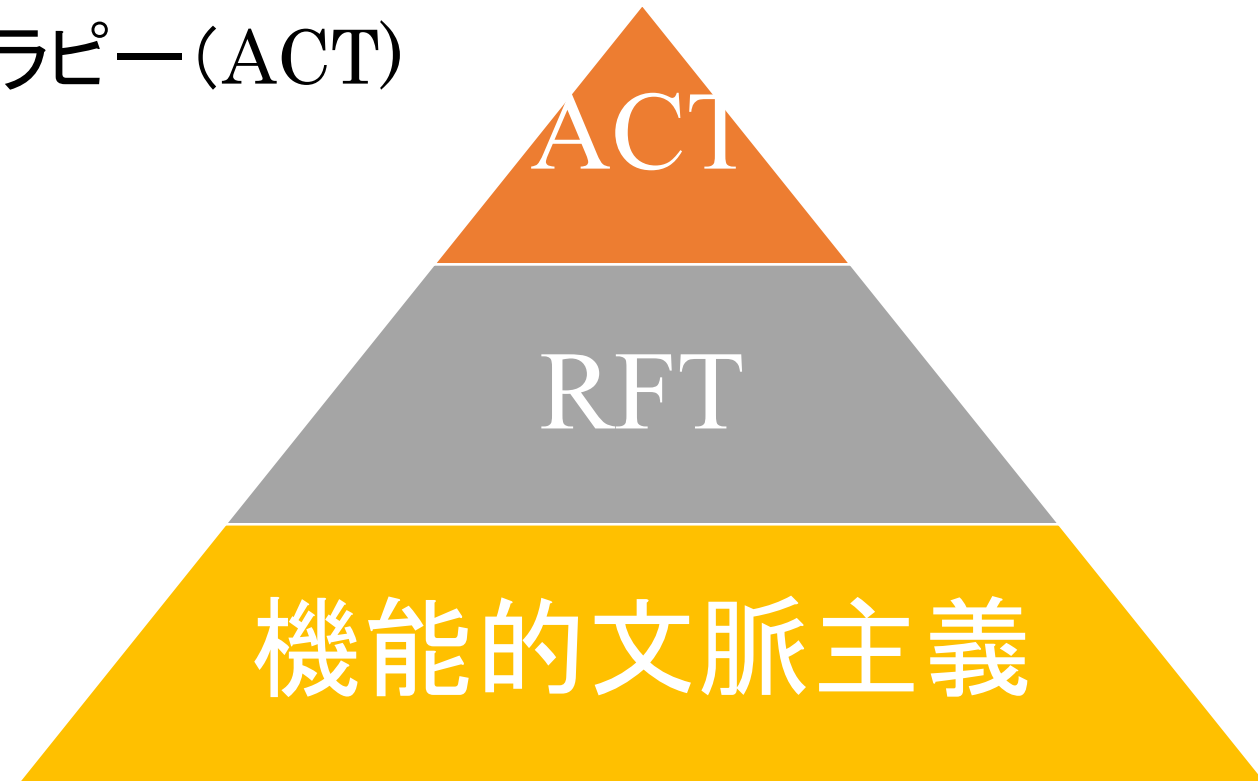
総合心理学部

谷 晋二



文脈的行動科学 (Contextual Behavioral Science; CBS)

- 機能的文脈主義
- 関係フレーム理論 (RFT)
- アクセプタンス & コミットメント・セラピー (ACT)



文脈主義

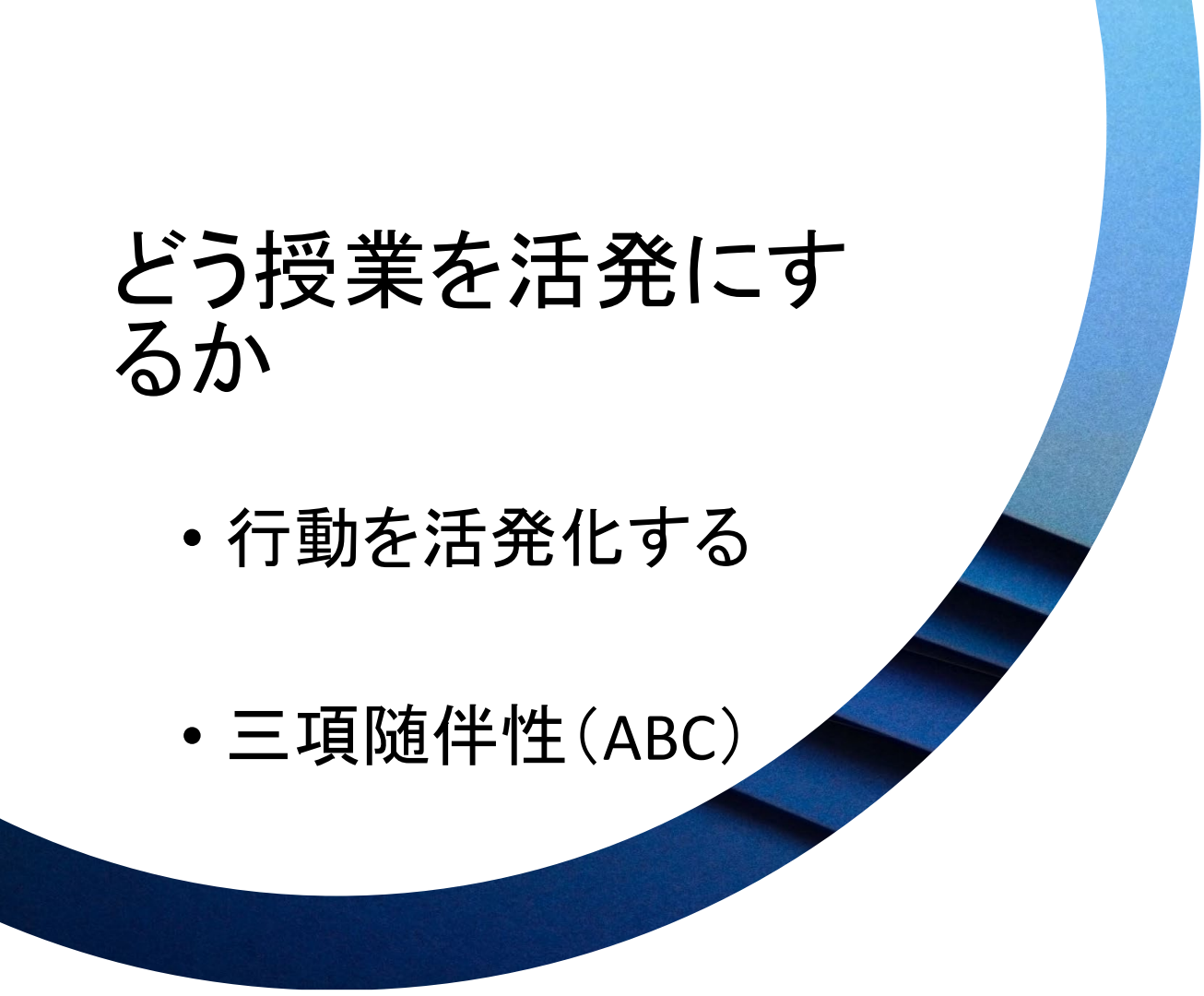
- 文脈の中での進行中の行為 (the ongoing act in context)
 - 行為は現在と過去の文脈の中で生じ、その目的と意味によって定義される。
 - 文脈主義的な考えに基づく科学的行為は「現実世界 (real world)」の記述に関心があるのではなく、「基礎研究者と応用研究者、そして実践家が個人やグループの行動を予測し、影響を与えることを可能にする言語的記述である」(DeHouwer, Bares-Holmes, & Barnes-Holmes, 2015, p.124)
 - 何がうまくいくかを知るには、自分が何を目指しているのかを知らねばならない(Hayes, 1993)



www.shutterstock.com - 314971863

授業で何を目指しているのか

- 学生が積極的に参加する
 - 発言
 - 参考文献
- 相互作用
 - 教師－学生
 - 学生－学生
- 授業の目的
 - 1. 障がい児(者)の心理と行動を実証的、理論的に検討することができるようになる。
 - 2. 障がい児(者)の心と行動に関する問題を支援するため具体的方法を説明することができるようになる。
 - 3. 障がい児(者)の教育、福祉、就労などの問題を現代の社会の課題やダイバーシティと関連付けながら説明することができるようになる。



どう授業を活発にするか

- 行動を活発化する
- 三項随伴性(ABC)

Antecedent

Behavior

Consequence

Antecedent(先行事象)を操作して

発問する

- Open question
- Closed question

発言の機会を与える

- 待つ

いろいろな行動の形 を使って

発言

手を挙げる (Yes/No)

書く

- 掲示板
- Slack
- Line

Response カード

結果を操作 して

- 言語的なフィードバック
 - Yessing
 - 名前を呼んで誉める
 - ポイント, 得点

Tips



簡単な問いから

発言が少ないなら

- 簡単な反応から
- 少しずつ複雑な反応へ シェイピングする

待つことはとても大切

- ヒントを使う(プロンプト)
 - ヒント, ページ, スライドなど

結果は

発言数

Slackを使って

- 反応の形態
- 反応数の増大

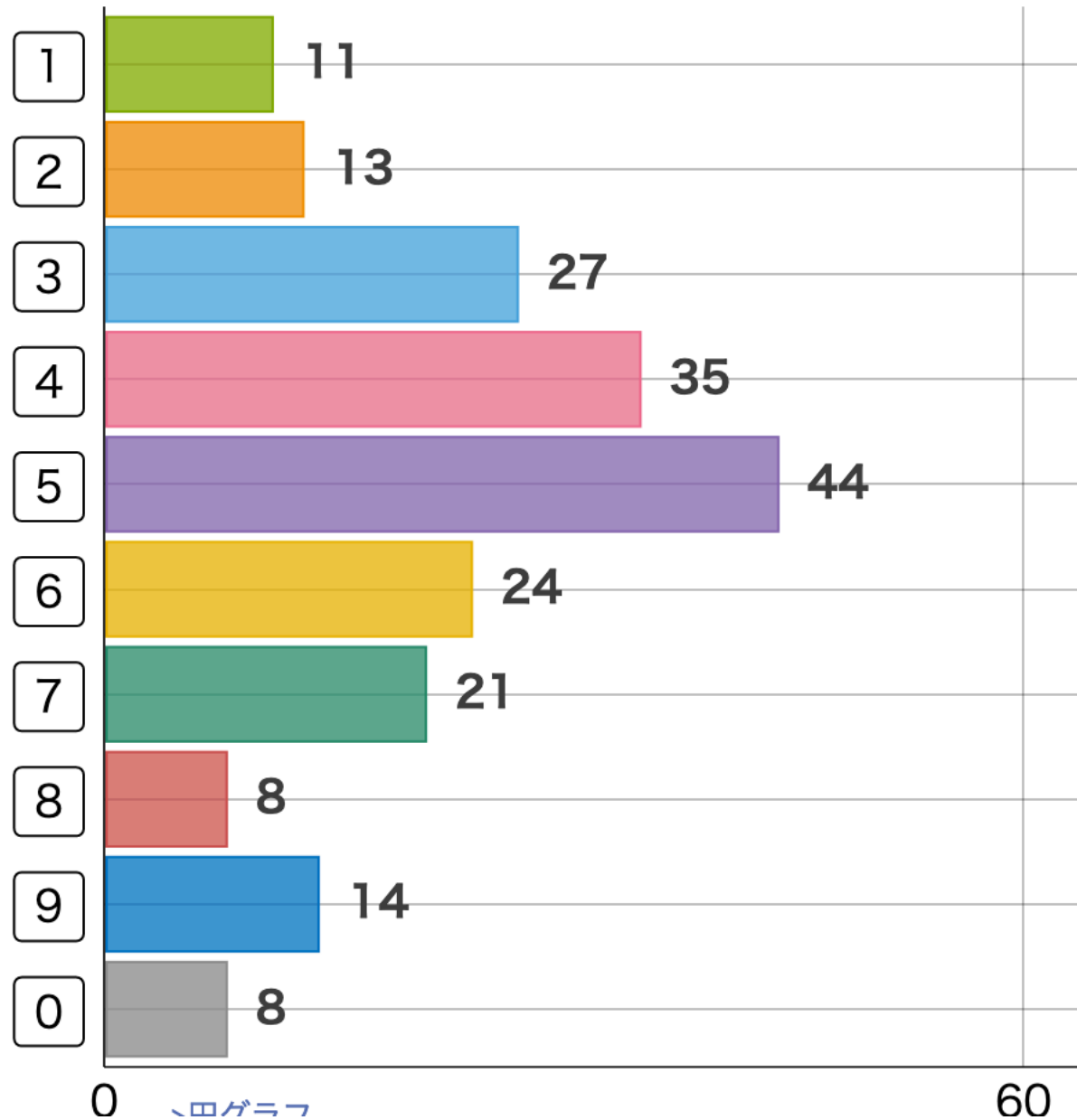
提出者 205名

提出者確認

1回目

2022年度

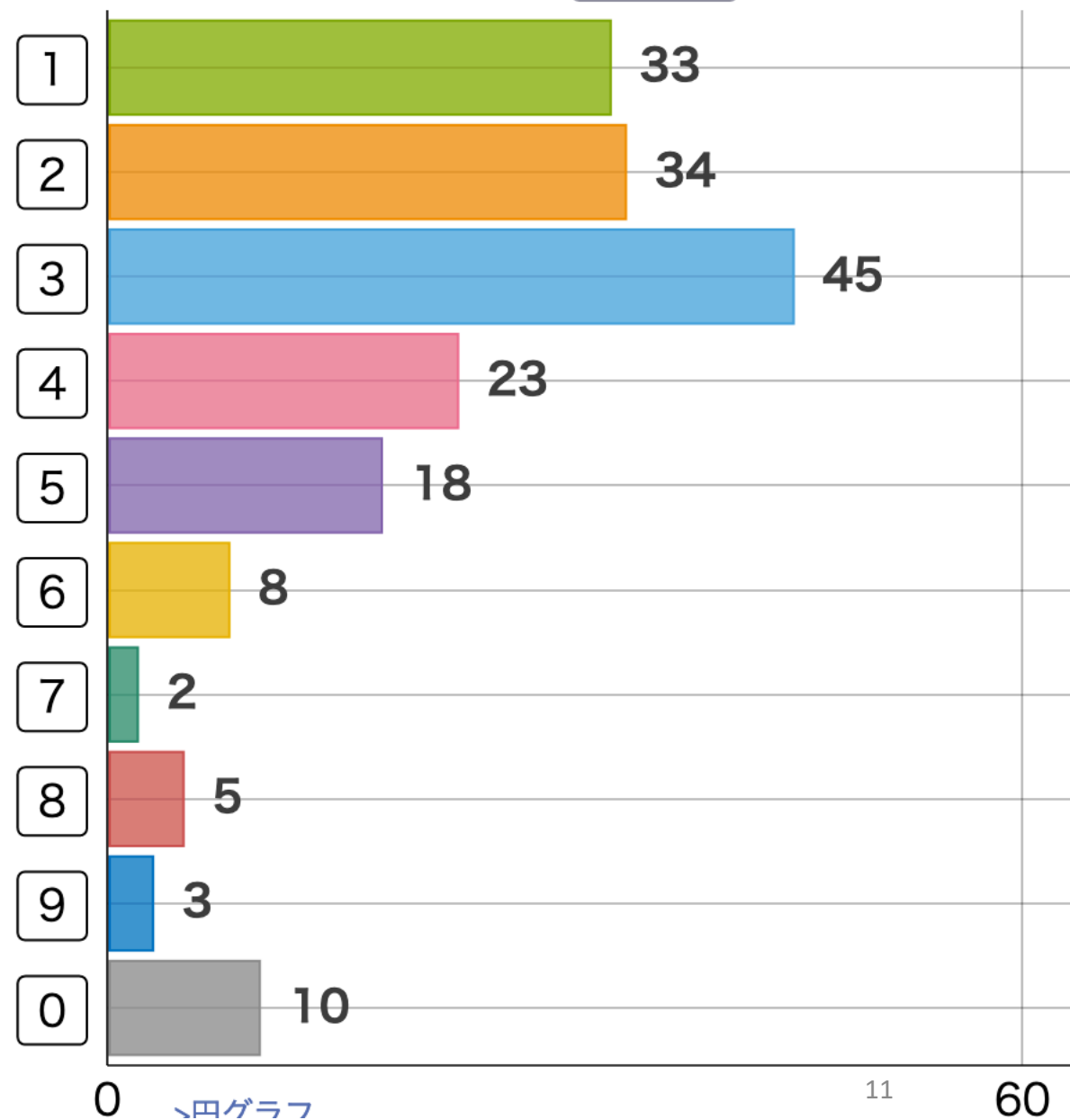
発言回数



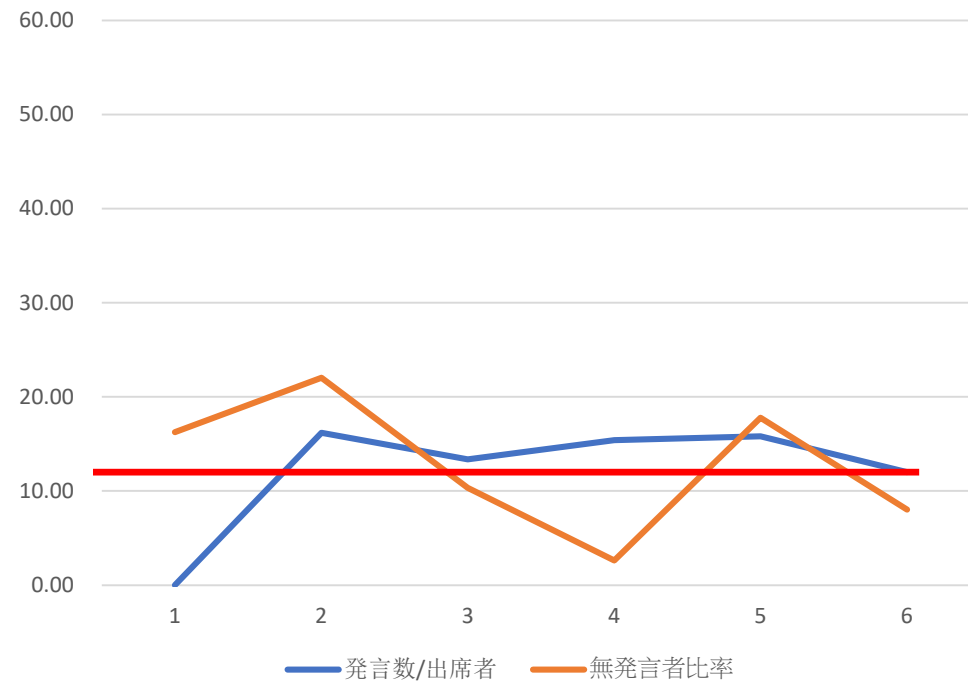
提出者 181名

提出者確認

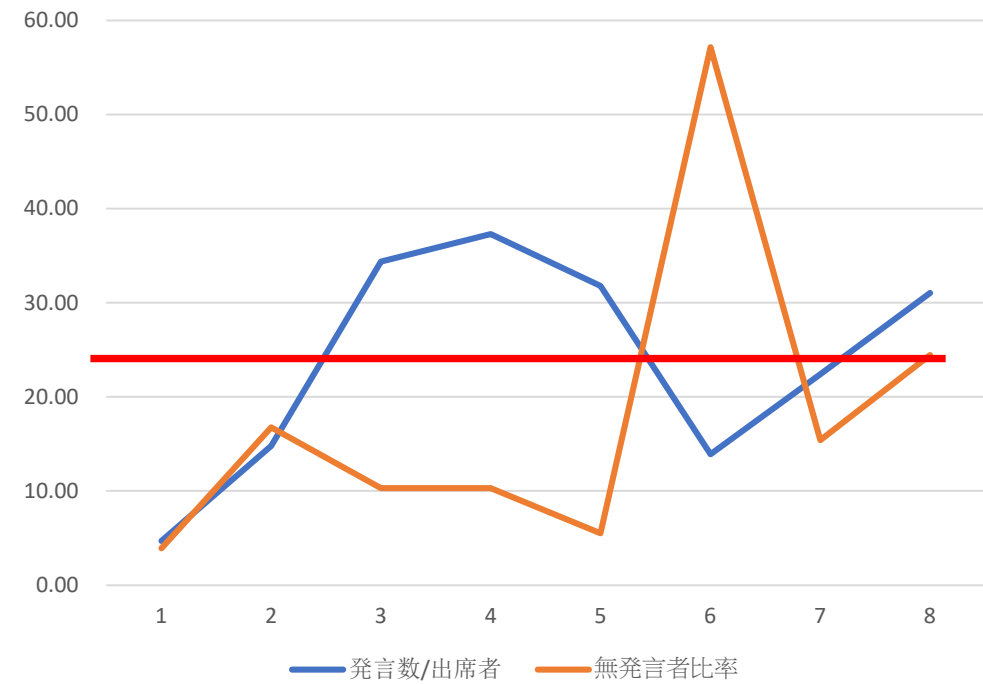
7回目



発言比率と無発言者比率(134名)
2021



発言比率と無発言者比率(218名)
2022



学びを促進するのか

- 今後の課題（目的は達成されたのか？）
 - 試験による評価
 - 参考文献や参考資料へのアクセス